



交流人口増加に期待のかかるビーチスポーツフェスタ

2008年  
9月定例会  
9月9日～25日

一般会計補正予算

1億2940万1千円を追加

〔総額58億3409万円〕

ビーチスポーツ専用競技場に

更衣室建設

3000万円

大丸運動公園に隣接したビーチスポーツ専用競技場にシャワー、トイレを備えた更衣室を建設することになりました。本町の地域特性を生かしたビーチスポーツの競技大会の開催に伴うものであり、県から地域振興推進事業補助金が交付されます。

審議の中で、ビーチスポーツと併せ、文化、歴史を踏まえた観光ルート等の整備研究や予算を検討し、ビーチスポーツ用具保管倉庫の整備の検討を要望しました。

戸籍関係の証明書発行が

スピーディーになります

戸籍電算化システムリース料

700万円

総額で1億3840万円

県内において戸籍の電算化がされていないのは、離島の一部の村と本土では大崎町だけとなっています。現在使用している戸籍システム機器も製造中止になってから10年が経過しており、平成22年以降、消耗品の確保や保守が



電算化で戸籍証明書発行もスムーズに

できなくなります。

戸籍電算化の本格稼働は平成22年度からとなり、今回、システム導入のデータ作成料700万円を計上しました。総事業費は、1億3840万円です。平成26年度までのリースとなり、22年度以降毎年2190万円の支払いとなります。

戸籍の電算化の利点として、窓口での証明書発行のスピーディー化、入力業務のスピーディー化の他、データの老朽化、紛失、漏洩がなくなります。